

参加チーム・プランの内容

- 天草高校2年生(3人)【最優秀賞】  
天然由来アオサ石鹸の製造販売
- 天草高校2年生(3人)【優秀賞】  
移動時間を楽しむダイビングツアー
- 牛深高校2年生(5人)【優秀賞】  
ジビエ料理・イノシシ<sup>さん</sup>残渣の堆肥化
- 天草高校3年生(6人)  
WANIMAの聖地めぐりツアー
- 天草高校1年生(3人)  
高齢農家と中高生のマッチング
- 牛深高校3年生(3人)  
天草産ハチミツ専門店を開業
- 天草高校倉岳校(4人)  
学校を舞台とした新しい婚活
- 天草拓心高校(6人)  
移住者と地元の人との交流イベント  
など

※参加した全チームが、今回のプランにさらに磨きをかけて日本政策金融公庫が主催する全国高校生ビジネスグランプリに応募します。

参加した牛深高校3年生



佐々木恵美さん 大西ひとみさん  
田川優汰さん

一生懸命考えた提案に課題が見つかったり、足りない部分を指摘されたりしたときは、心が折れそうでした。だけど、調べて考えるを繰り返すうちに成長できたと思います。天草のことを知るにつれ、本当に良いところだと実感できたので、もっとPRしていこうと思いました。



▲アオサ石鹸の試作品を見せる3人

**再考→方向転換**  
代案を探す中で、天草はアオサの養殖が盛んで、そこでも製品にならないものが大量に廃棄されていることを知る。さらに、アオサの選別作業をしている人の手がすべすべしていることを知り、これを生かせないか検討。廃棄されるアオサをもらってきてアオサ石鹸の試作を開始。高校生15人に使い心地などのアンケートをとりながら、アオサを煮出す時間や濃度を変えるなど自宅で試行錯誤。

**ビジネスプラン構築→発表**  
課題と対策を再検討し、チームで顧客・販売方法・収支計画などを話し合い、ビジネスとして組み立てていく。中間発表で講師から受けた指摘箇所を修正し、最終発表。結果、最優秀賞に選ばれました。



▲審査員の1人として発表内容に質問する中村市長



▲色が悪いアオサは捨てられている現状を知る



▶6分間発表し、10分間質問を受ける



# 高校生が 未来の天草を 切り拓く!

## 天草宝島起業塾高校生コース

圃産業政策課 ☎32-6786

### 天草をどう発展させる? どうやれば良くなる? 自分には何ができる?

高校生が地域課題を考え、ビジネスの手法で解決策を考える「天草宝島起業塾高校生コース」が7月13日から8月4日の約3週間で開催され、8チーム・33人が参加しました。京都大学経営管理大学院と市が協定を結んで取り組むこの事業。7回目となる今年の目標は…

- ①天草のことを自分事として考える!
- ②自分の未来を自らデザインする力
- ③友達と相談しながら作り上げる力

これを身につけるために、6日間の講義やグループワークに加え現場で話を聞くフィールドワークを行い、各チームがビジネスプランを作り上げました。

産業や自然など天草の資源を活用しながら学ぶ高校生たちを紹介します。

【最優秀賞】

天草高校2年生(善徳碧彩さん、小野原幸音さん、向菜々子さん)  
ビジネスプラン名:アオサ石鹸

考察→挫折

大量に廃棄されている魚のウロコに含まれるコラーゲンに着目。これを原料にした化粧品を開発するプランを考えた。しかし、ネットで調べると、コラーゲン抽出技術の特許を持つ製造業者があり、技術提供を依頼するも、企業秘密で提供できないとの回答。暗礁に乗り上げる。



▲鮮魚店からウロコが大量に廃棄されることを聞く

厳しい指摘や注文に対しても、それに応えようと一生懸命頑張っている。ああでもないこうでもないと思いついたことをさらに考え直し、発表するプロセスが大切。指摘を受け入れる能力も必要で、悩み続けてより良いものに改善していく粘り強さが育ちます。中間発表で講師陣から指摘を受けた後、チームで話し合いすぐに反映させていく姿は頼もしく感じました。



講師

京都大学経営管理大学院附属  
経営研究センター長

若林 靖永氏



▲4月の熊日杯城南地区大会では見事優勝

## 島のチームワークで 勝利を掴む

御所浦中学校男子バレーボール部

御所浦中学校男子バレーボール部の歴史は長く、ゆうに50年を超える。そのため島民に経験者も多く、島ではメジャーな運動の1つだ。

現在13ある市内中学校のうち男子バレーボール部があるのは、御所浦中も含め4校。その中で一番生徒数が少なく、男子生徒は3学年合わせて28人。うち12人がバレーボール部員だ。

「このチームは、拾ってつないでエースが決める。守備力で勝ち進んできた」と話すのは外部コーチの脇島さん。同部OBで、4年前からコー

チを引き受けている。外部コーチは脇島さんを含め3人で、日々の練習や週末の試合にもほぼ顔を出し、指導にあたっている。

監督の萩元先生は、「コーチをはじめ、保護者や卒業生が技術面をサポートしてくれる。バレー経験のない自分は、技術以外の部分を担当し役割分担がうまくできている」と話す。

「今の3年生は、1年のときからずっと見てきたから、最後の中学生連は勝って九州大会に行きたかった」と脇島さんは悔しさを口にしたが、平均身長161cmと小さなチームで県3位は島の誇りだ。

キャプテンとしてチームを引っ張ってきた脇島くんも、「まだまだこのチームでバレーがしたかった。九州大会に行けなかった悔しさは、後輩たちになんばってもらいたい」とエールを送る。

3年生は県中体連大会を最後に引退し、現在は7人で秋の新人戦に向けて練習に励んでいる。

6人制バレーで守備を専門にするリベロを含めると7人。まさしく全員バレーで、島のチームワークを生かして試合に臨む。



▲島国パワーを見せてやる～!



▲外部コーチが練習を指導



▲170cmを超えるのはキャプテンの脇島くん(1列目左端)のみ

高校生が  
未来の天草を  
切り拓く!

## 天草だから学べる ことがある!



天草高校

天草の資源を使って、科学的に自ら考え研究する人材を育成するため、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の認定を受けて取り組む。



天草工業高校

進学・就職の進路決定率100%! 機械・電気・土木・情報技術科で社会に必要な技術習得や将来の進路につながる資格取得を目指す。

## 天草の高校



天草高校倉岳校

一人一人が主役! 習熟度に応じた授業や個別指導で進路達成を目指す。海の体育大会「マリンフェスタ」は地域一体で盛り上がる!



天草拓心高校本渡校舎

多彩なフィールドワークで自然から学ぶ学習環境。学科を超えて専門知識や技術を学ぶ総合選択授業で夢実現に取り組む。



牛深高校

普通総合学科で大学進学をはじめ、福祉や情報系への就職に向けて、進路希望に応じた授業を選択。少人数でのきめ細かな指導で進路目標を実現。



天草拓心高校マリン校舎

県下唯一の「海洋科学科」で航海や海洋生物の栽培や食品加工を、「普通科総合コース」で情報ビジネスを学習。地域を支える人材育成を目指す。

## 天草地域高校魅力発信フェス

天草地区の県立高校5校(7カ所)の特色や素晴らしさを発表や展示で生徒たちが自ら発信します。

■とき **10月6日(日)**  
午後1時～3時30分

■ところ 天草市民センターホールおよびロビー  
■対象 小中学生と保護者、教職員、地域の皆さん

☎天草高校 23-5533



上天草高校

普通科2クラスと情報会計科、福祉科を設置。文科省から指定を受け、本校での学び・地域との協働をとおして、未来を切り拓くリーダーを育成する。